

2 級舗装施工管理技術者 解答試案

〔一般試験〕

問	解答	ポイント解説
1	3	中硬岩のCの値は1.2~1.4である
2	1	自重によって水平荷重に抵抗する
3	2	クラムシェルは掘削機械である
4	1	肥料の3元素はN、P、Kである
5	4	特記仕様書が共通仕様書を補足する
6	3	土の強度特性を測定する室内試験である
7	1	CBR3未満は軟弱路床である
8	2	設計期間内の平均的な大型車交通量
9	3	クリンカーアッシュは用いない
10	2	記述はポリマー改質アスファルトの説明
11	4	路盤材の強度は修正CBRで表す
12	3	細粒度の混合物の方が耐流動性に劣る
13	4	砕石マスタックは水密性に富んだ混合物
14	2	ブルドーザーが用いられる
15	1	1層の仕上げり厚は10~20cmを標準
16	2	12時間以上は加熱貯蔵サイロを使用
17	1	線圧の小さなローラを使用する
18	3	敷均しにはスプレッドを用いる
19	2	タイヤローラ又はタンデムローラを用いる
20	4	30 程度低い温度でも施工性が得られる
21	2	ホッパ内の混合物をスクリードに供給
22	1	スケッチや路面性状測定車による方法
23	1	塑性変形輪数は路面の性能指標である
24	4	段差すり付け工法による
25	3	準備作業を含めて進める
26	4	修正CBR試験を用いる
27	3	工種の多い、複雑な工事に用いられる
28	1	材料費、労務費、経費、外注費の4費目
29	2	道路工事等協議書は該当しない
30	4	特に歩行者が多い箇所は幅1.5m以上

問	解答	ポイント解説
31	2	セメント瀝青安定処理は基準密度で管理
32	3	合格判定値は発注者が定める
33	3	基準高は、路床及び下層路盤に適用
34	1	検査は発注者の検査員が行う
35	4	安全委員会、衛生委員会は常時50人以上
36	2	3,000万円以上の場合、監理技術者を配置
37	4	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音の4つ
38	3	アースオーガーと併用する場合は除外
39	4	30日前まで市町村長に届出る
40	1	建設汚泥は産業廃棄物である

〔応用試験〕

問1. 経験記述 省略

問2. 舗装の性能指標

疲労破壊輪数	3,000
3,500万	平坦性
塑性変形輪数	

問3. 加熱アスファルト混合物

耐流動性	30
0.5	消石灰
多い	

問4. 路盤の施工

硬化	湿潤
しにくい	40
わだち掘れ	

問5. 舗装の破損と補修工法

打換え	路上路盤再生
ボンピング	ひび割れ
リフレクションクラック	

